

# 平成 22 年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修 (情報処理コース)

佐野寿久

工学系技術支援室 情報通信技術系

## はじめに

本研修は、東海・北陸地区国立大学法人等の技術職員に対し、職務に必要な専門知識及び技術等を修得させることにより、資質の向上を図るとともに、技術職員相互の交流に寄与することを目的としている。今年度も、国立大学協会及び東海・北陸地区国立大学法人等の共催により、9月1日(水)から9月3日(金)の3日間の日程で、国立大学法人金沢大学(石川県金沢市角間町)で実施された。受講者は、東海・北陸地区18機関から30名、名古屋大学からは4名が参加した。

## 1. 研修日程

第1日目 (9月1日)	開講式 講義「情報通信と危機管理」 総合メディア基盤センター 大野 浩之 教授 講義「統合認証基盤と全学ポータルシステム」 総合メディア基盤センター 笠原 禎也 教授 松平 拓也 技術職員
第2日目 (9月2日)	講義「IPv6を学ぼう-基礎編」 総合メディア基盤センター 北口 善明 助教 実習「IPv6を学ぼう-実習編」 総合メディア基盤センター 北口 善明 助教
第3日目 (9月3日)	講義「データセンターにおけるグリーン化の事例」 富士通(株) 羽根田 知明 氏 講義「次世代ネットワーク(NGN)の展開について」 西日本電信電話(株) 森 哲朗 氏 講義「クラウドコンピューティングの活用による業務の効率化について」 西日本電信電話(株) 岩切 豊 氏 講義「仮想化のトレンドと落とし穴-Cisco UCSによる解決」 ユニアデックス(株) 高橋 優亮 氏 講義「Trend Study-映像の高精細化と3D技術の活用について」 西日本電信電話(株) 太田 健一 氏 閉講式

## 2. 講義・実習

### 講義「情報通信と危機管理」

危機管理を考える時には、コンピュータ、ネットワークへの技術的な対応だけでなく、組織や人の社会的な側面も考慮して、冷静に情報を把握して対応することが重要であることを学んだ。

### 講義「統合認証基盤と全学ポータルシステム」

金沢大学ポータルサイト（アカンサスポータル）を通して、利用者の使いやすさ、管理運用の効率化、新サービスの展開とコスト低減の取り組みを、学内の統合認証と学術認証フェデレーション「学認」を利用した、シングルサインオンによって実現していることが紹介された。

### 講義「IPv6 を学ぼう-基礎編」

枯渇が避けられない IPv4 に代わり、今後普及することが予想される IPv6 についての基礎知識、移行技術、IPv6 サービスの現状についての講義がされた。

### 実習「IPv6 を学ぼう-実習編」

Linux(Ubuntu)ルータと Windows Vista 端末をスイッチング HUB で接続して、IPv6 over IPv4 トンネル接続による IPv6 環境を構築後、通信ができることを確認した。

### 講義「データセンターにおけるグリーン化の事例」

富士通データセンターにおける、熱流体シミュレーションとセンサーを利用した空調の最適化、クリーンエネルギーの採用、省エネ運転マネジメントシステムによるデータの見える化など、最新の省エネルギー技術が紹介された。

### 講義「次世代ネットワーク(NGN)の展開について」

西日本電信電話株式会社の次世代ネットワークを利用した、フレッツ光ネクスト、企業間通信、フレッツ・ソフト配信等の商用サービスと、今後のビジネス展開が紹介された。

### 講義「クラウドコンピューティングの活用による業務の効率化について」

クラウドの基礎知識と、西日本電信電話株式会社の法人・医療・公共への活用例が紹介された。

### 講義「仮想化のトレンドと落とし穴-Cisco UCS による解決」

ユニアデックス株式会社による、サーバ仮想化の問題点と解決方法を、豊富な具体例から分かりやすく話していただいた。

### 講義「Trend Study-映像の高精細化と 3D 技術の活用について」

西日本電信電話株式会社より、立体表現のしくみと 3D 技術の可能性の紹介があり、実際に 3D カメラとモニタを利用した環境で、3D 眼鏡による映像を体験できた。

## おわりに

情報処理における最新情報と今後の可能性について、多くの知識を得ることができました。また、他機関の技術職員との交流もあり、有意義な研修を受講できました。講義を担当された、金沢大学総合メディア基盤センター教員の皆様、各企業の講師の皆様、研修を企画・運営していただきました、金沢大学事務局と技術部の皆様に感謝の意を表します。